



2025年3月期 第1四半期（2024年4～6月期）

決算説明資料

2024年7月26日（金）

すべてのひとに資産形成を。

第1部 決算概況など

1. 決算サマリー

第1四半期の営業利益は1,253百万円、前年比+256百万円（+26%） （下表4行目a-c列）

- 純営業収益は、金融収支、トレーディング損益の増加を主因に、前年比増加。
- 販管費は、新サービスへの先行投資や業容拡大により、前年比増加。

| | | 単四半期 | | |
|--------|-------------|--------|--------|------|
| | | a | b | c |
| 単位：百万円 | | 前年比 | | |
| 1 | 営業収益 | 6,375 | +478 | +8% |
| 2 | 純営業収益 | 5,489 | +571 | +12% |
| 3 | 販管費 | 4,236 | +314 | +8% |
| 4 | 営業利益 | 1,253 | +256 | +26% |
| 5 | 経常利益 | 1,264 | +263 | +26% |
| 6 | 当期純利益 | 588 | +76 | +15% |
| 単位：億円 | | | | |
| 7 | 二市場1日個人売買代金 | 26,288 | +6,199 | +31% |
| 8 | 当社1日売買代金 | 1,796 | +298 | +20% |

※ 「二市場1日個人売買代金」及び「当社1日売買代金」には、ETF、REITを含む。

2. 純営業収益

第1四半期の純営業収益は5,489百万円、前年比+571百万円（+12%）（下表1行目a-c列）

- ▶ 大口優遇プランの適用拡大により委託手数料は前年比減少。
- ▶ 金融収支及びトレーディング損益は前年比増加。

| | | 単四半期 | | |
|----|-----------------------|-------|------|-------|
| | | a | b | c |
| | | 前年比 | | |
| 1 | 純 営 業 収 益 百万円 | 5,489 | +571 | +12% |
| 2 | 委 託 手 数 料 百万円 | 1,541 | ▲192 | ▲11% |
| 3 | ト レ ー デ ィ ン グ 損 益 百万円 | 621 | +38 | +7% |
| 4 | 金 融 収 支 百万円 | 2,352 | +144 | +7% |
| 5 | そ の 他 百万円 | 973 | +581 | +148% |
| 6 | 総 合 口 座 数 千口座 | 1,731 | +160 | +10% |
| 7 | 新 規 口 座 獲 得 数 千口座 | 38 | +6 | +20% |
| 8 | 店 頭 F X 口 座 数 千口座 | 136 | +24 | +22% |
| 9 | N I S A 口 座 数 千口座 | 276 | +10 | +4% |
| 10 | 株 式 売 買 代 金 兆 円 | 11.1 | +1.8 | +20% |
| 11 | 店 頭 F X 売 買 代 金 兆 円 | 21.6 | ▲1.0 | ▲5% |
| 12 | 期 末 預 り 資 産 額 兆 円 | 3.9 | +0.6 | +20% |
| 13 | 信 用 取 引 残 高 億 円 | 3,255 | +664 | +26% |

※ 「委託手数料」「トレーディング」は本来営業収益だが、比較便宜のため純営業収益の内数に表示。

3. 販売費及び一般管理費

第1四半期の販管費は4,236百万円、前年比+314百万円（+8%）（下表1行目a-c列）

➤ 新サービスへの先行投資や業容拡大を主因に、前年比増加。

| | 単位：百万円 | 単四半期 | | |
|---|--------------|-------|------|------|
| | | a | b | c |
| | | 前年比 | | |
| 1 | 販 管 費 | 4,236 | +314 | +8% |
| 2 | 取 引 関 係 費 | 1,537 | +65 | +4% |
| 3 | うち 広 告 宣 伝 費 | 296 | +34 | +13% |
| 4 | 人 件 費 | 765 | +109 | +17% |
| 5 | 不 動 産 関 係 費 | 758 | +46 | +7% |
| 6 | 事 務 費 | 263 | +51 | +24% |
| 7 | 減 価 償 却 費 | 725 | +69 | +11% |
| 8 | 貸 倒 引 当 金 | - | ▲40 | - |
| 9 | そ の 他 | 184 | +11 | +7% |

※ 「不動産関係費」は、不動産費と器具備品費（システム経費）の合計。

(参考) 四半期損益推移

| 単位：百万円 | 2022年度 | | | | 2023年度 | | | | 2024年度 | | | |
|-------------|--------|-------|-------|-------|--------|-------|-------|-------|--------|----|----|----|
| | a | b | c | d | e | f | g | h | i | j | k | l |
| | 1Q | 2Q | 3Q | 4Q | 1Q | 2Q | 3Q | 4Q | 1Q | 2Q | 3Q | 4Q |
| 1 営業収益 | 5,042 | 4,990 | 5,230 | 4,819 | 5,897 | 5,497 | 5,640 | 6,534 | 6,375 | - | - | - |
| 2 純営業収益 | 4,297 | 4,503 | 4,515 | 4,195 | 4,918 | 4,973 | 4,890 | 5,972 | 5,489 | - | - | - |
| 3 委託手数料 | 1,382 | 1,395 | 1,382 | 1,403 | 1,734 | 1,641 | 1,472 | 2,003 | 1,541 | - | - | - |
| 4 トレーディング損益 | 550 | 617 | 746 | 573 | 583 | 468 | 454 | 520 | 621 | - | - | - |
| 5 金融収支 | 1,850 | 1,806 | 1,918 | 1,813 | 2,207 | 2,148 | 2,163 | 2,193 | 2,352 | - | - | - |
| 6 その他 | 514 | 682 | 467 | 405 | 392 | 714 | 799 | 1,254 | 973 | - | - | - |
| 7 販管費 | 3,329 | 3,445 | 3,600 | 3,644 | 3,921 | 3,933 | 3,751 | 4,277 | 4,236 | - | - | - |
| 8 営業利益 | 968 | 1,058 | 915 | 551 | 996 | 1,039 | 1,138 | 1,694 | 1,253 | - | - | - |
| 9 経常利益 | 987 | 967 | 1,266 | 567 | 1,000 | 1,029 | 1,216 | 1,618 | 1,264 | - | - | - |
| 10 四半期純利益 | 659 | 771 | 894 | 564 | 512 | 527 | 691 | 877 | 588 | - | - | - |
| 11 株式売買代金 | 7.5 | 7.8 | 8.1 | 7.8 | 9.2 | 9.9 | 9.6 | 13.0 | 11.1 | - | - | - |
| 12 信用取引期末残高 | 2,314 | 2,957 | 2,664 | 3,037 | 2,590 | 3,246 | 2,908 | 3,805 | 3,255 | - | - | - |

※ 「株式売買代金」は単位：兆円、「信用取引期末残高」は単位：億円。

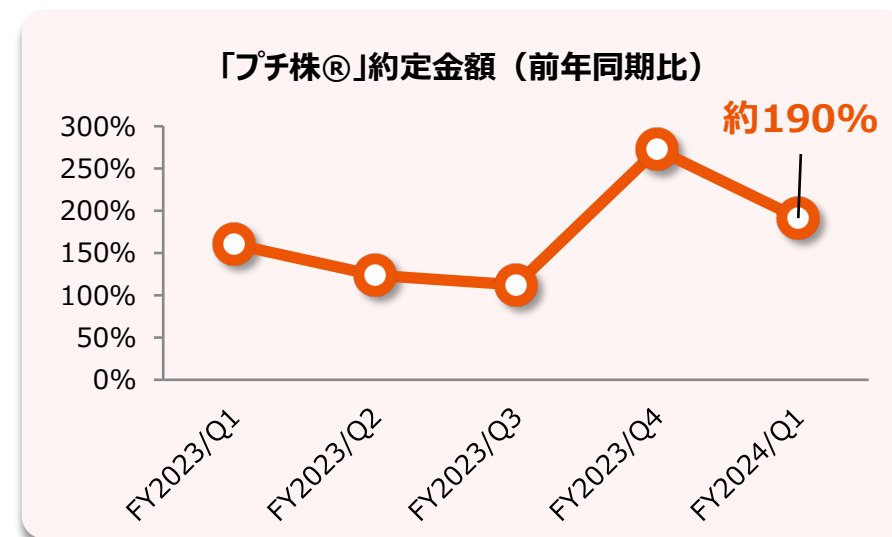
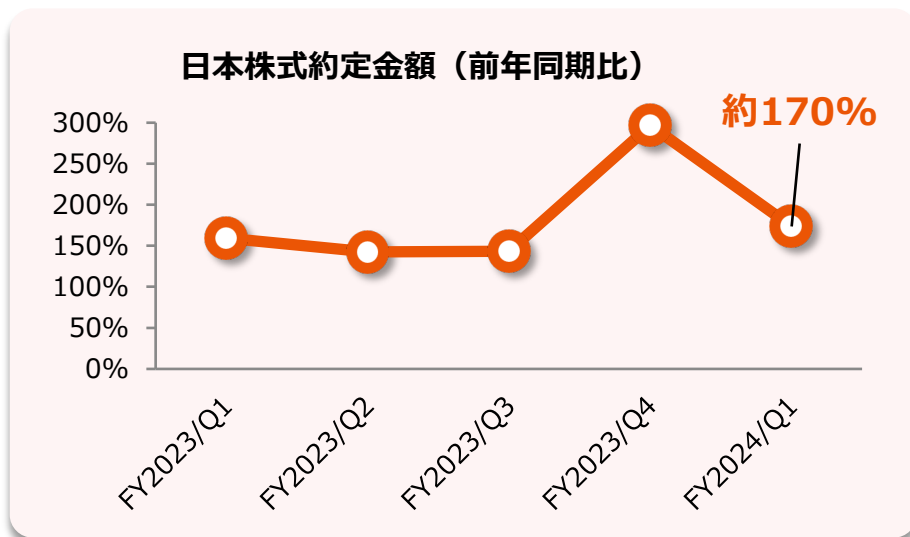
第2部 主要トピックス

2. NISA口座の約定金額、大口優遇プラン対象口座数

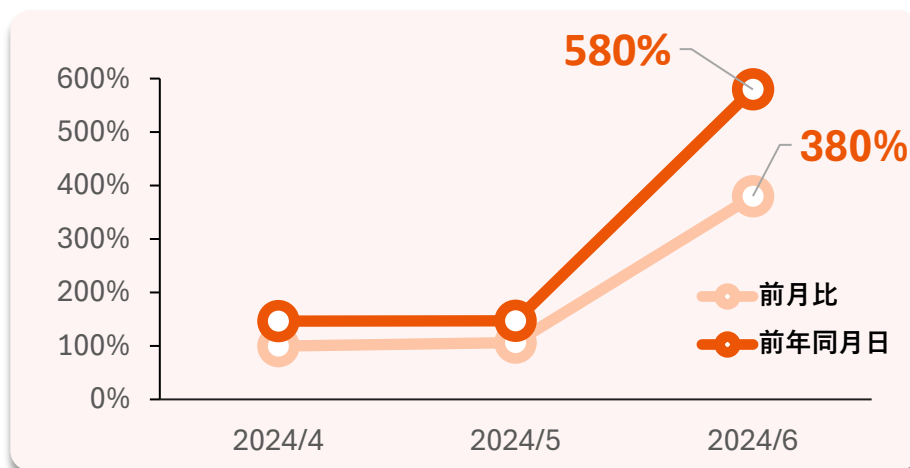
NISAの日本株式と「プチ株®」約定金額の伸び継続、大口優遇プランの対象口座数拡大

- 第1四半期の日本株式の約定金額は前年同期比約1.7倍、プチ株®は前年同期比約1.9倍
- 大口優遇プラン対象口座数は前月比3.8倍、前年同期比5.8倍（※）

NISA口座の日本株式と「プチ株®」の約定金額



大口優遇プラン対象口座数」（2024年6月末）



6月3日より
大口優遇プラン拡充

- 現物株式も手数料無料
- サファイアプラン新設
- プラン適用条件緩和

（※）従前の信用取引の手数料無料に加え、2024年6月3日約定分から現物株式手数料も無料に
https://kabu.com/company/pressrelease/20240430_1.html

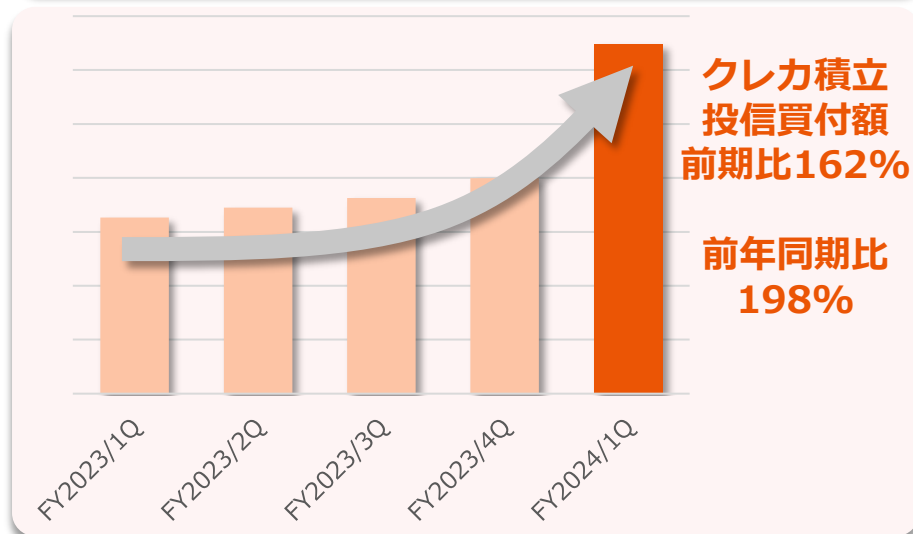
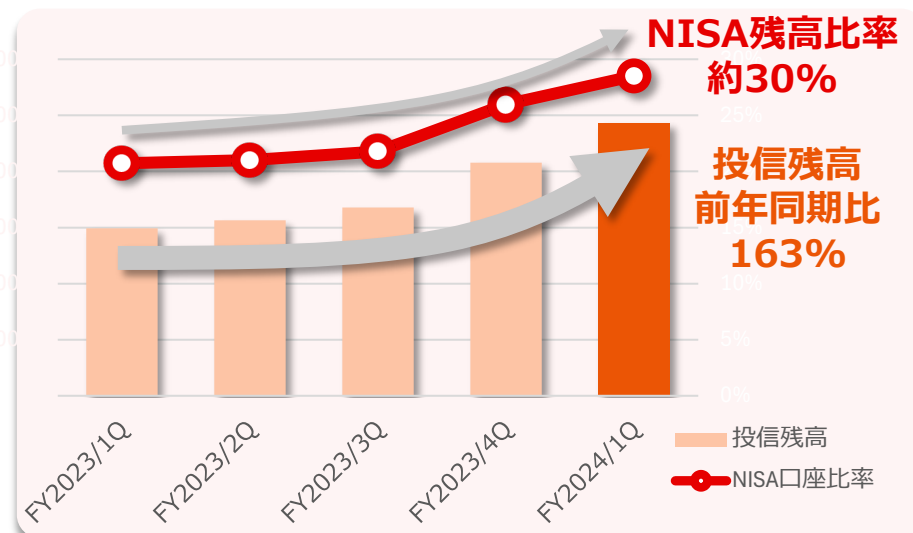
2. 投信の残高、クレカ積立での買付額

投信残高、クレカ積立での買付額が大幅伸長

- 投信残高が前年同期比1.6倍、うちNISAは約3割
- クレカ積立での投信買付額は前期比約1.6倍、前年同期比は約2倍、本年3月の上限額拡大で（※）

（※）金融商品取引業等に関する内閣府令の改正を受け、クレカ積立の月額設定上限を10万円（現行5万円）に拡大 https://kabu.com/company/pressrelease/20240308_1.html

投信残高、クレカ積立での買い付け額の推移



https://kabu.com/campaign/20240601_1.html



<https://kabu.com/company/lp/moneyactivity/01.html>



https://kabu.com/campaign/20240628_1.html

第3部 新たな商品・サービスなど (発表済みプレスリリースなど)

1. プレスリリース（2024年4～6月）①

昨年9月に公表の取り組みを2024年6月3日より順次開始（※）

2024年4月25日

auカブコム証券株式会社は、ミッションに掲げる「すべてのひとに資産形成を。」の実現に向けて昨年9月26日に発表した取り組み（※）を、2023年6月3日（予定）より順次、開始いたします。

2024年6月3日リリース予定の取り組み

1. 資産形成サービスの強化（新NISAにおけるプチ株®（単元未満株）手数料の無料化）

2. 信用大口優遇プランの拡充（現物株式手数料無料化・プラン追加など）

・すべての信用大口優遇プランで、現行の信用取引の手数料無料に加え、現物株式手数料も2024年6月3日（予定）より無料とします。

・ダイヤモンドプランとプラチナプランの間に、優遇コース（サファイアプラン）を新設します。

・シルバープランの適用条件の一つとして、「前月の信用買平残1千万円以上」を追加します。

| | クラウン | ダイヤ | サファイア | プラチナ | ゴールド | シルバー |
|--------------------|---------|---------|--------|-------|-------|--------|
| 建玉残高 (前1カ月) | 45億円以上 | 30億円以上 | 15億円以上 | 5億円以上 | 3億円以上 | 1億円以上 |
| 新規約定代金 (前1カ月) | 125億円以上 | 100億円以上 | 30億円以上 | 5億円以上 | 4億円以上 | - |
| 預り資産評価 (前1カ月)※1 | 30億円以上 | 14億円以上 | 3億円以上 | - | 2億円以上 | 1億円以上 |
| 買平残 (前1カ月) | - | - | - | - | - | 1千万円以上 |
| 優遇プラン 適用回数 | ダイヤ以上 | プラチナ以上 | ゴールド以上 | - | - | - |
| 半期 | 4回以上 | 4回以上 | 4回以上 | - | - | - |

※1. 預り資産評価による適用は4月～9月（上半期）と10月～3月（下半期）に1回のみのご利用可能です。

3. kabuステーション®の無料化

現在、kabuステーション®通常プランのご利用料金は、990円（税込）/月ですが、2024年6月3日（予定）より無料とします。FintechプランをProfessionalプランと改称し、下表のとおり、各プランの適用条件を緩和します。また、フル板、デイトレ板及びチャートの機能を改善します。

https://kabu.com/company/pressrelease/20240425_1.html

| | 現行 | 変更 |
|----------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| Professionalプラン (旧Fintechプラン) | ・信用取引口座または先物オプション取引口座開設済み ・かつ、前月で当社全取引における約定が1回以上ある ※kabuステーション®を初回申込みの場合、翌々月第1営業日まで利用可能 | ・信用取引口座または先物オプション取引口座開設済み ・かつ、 前々々月～当月 で当社全取引における約定が1回以上ある ※kabuステーション®を初回申込みの場合、翌々月第1営業日まで利用可能 |
| Premiumプラン | 以下のいずれかを満たす場合 ・当月、信用取引大口優遇で、シルバープラン以上が適用されている ・または、前月の先物・オプション取引手数料が11万円以上（税込）である | 以下のいずれかを満たす場合 ・当月、信用取引大口優遇で、シルバープラン以上が適用されている ・または、前月の先物・オプション取引手数料が11万円以上（税込）である ・ または、前月の米国株取引手数料が11万円以上（税込）である ・ または、前月の全商品の預り資産が5千万円以上である |

4. デイトレ信用金利貸株料無料化

デイトレ信用は、返済期限が当日のみとなるデイトレード専用の一般信用取引です。これまで買方金利・貸株料は1約定あたりの約定金額が100万円未満の場合は1.8%としていましたが、2024年6月3日（予定）より無料とします。

| | 条件 | 現行 | 変更 |
|-----|--------------------|---------|-------|
| 手数料 | 約定代金にかかわらず | 0円 | 0円 |
| 金利 | 1注文あたりの約定代金100万円以上 | 年利 0% | 年利 0% |
| | 1注文あたりの約定代金100万円未満 | 年利 1.8% | 年利 0% |
| 貸株料 | 1注文あたりの約定代金100万円以上 | 年利 0% | 年利 0% |
| | 1注文あたりの約定代金100万円未満 | 年利 1.8% | 年利 0% |

（※）2024年4月25日（木）発表の2024年3月期第4四半期 決算説明資料P15に掲載したものを一部再掲。

1. プレスリリース（2024年4～6月）②

「auカブコム証券で投資デビューキャンペーン」を実施
～「NISAで資産形成デビュー応援キャンペーン」と合わせて最大
13,000Pontaポイントをプレゼント～

2024年5月31日
auじぶん銀行株式会社
auカブコム証券株式会社

auじぶん銀行株式会社（本社：東京都中央区、代表取締役社長：田中 健二、以下「auじぶん銀行」）とauカブコム証券会社（本社：東京都千代田区、代表取締役会長兼社長：二宮 明雄、以下「auカブコム証券」）は、2024年6月1日から、期間中にauじぶん銀行経由でauカブコム証券の証券総合口座を新規開設し、auマネーコネクトでの証券口座への入金などの条件達成をしたお客さまを対象に、もれなく3,000Pontaポイントをプレゼントする「auカブコム証券で投資デビューキャンペーン」を実施します。

また、auカブコム証券は、同じく2024年6月1日から、KDDI株式会社（本社：東京都千代田区、代表取締役社長：高橋 誠）と、期間中にauカブコム証券のNISA口座を開設し、投信買付などの条件を達成したお客さまを対象に、投信買付額に応じて合計最大5,000Pontaポイント、au/UQ mobileをご利用中なら2倍の合計最大10,000Pontaポイントをプレゼントする「NISAで資産形成デビュー応援キャンペーン」を開催します。

2つのキャンペーンの条件を満たすと、合計最大13,000Pontaポイントをプレゼントします。

詳細は下記auじぶん銀行のウェブサイトをご参照ください(注)。
(https://www.jibunbank.co.jp/campaign/2024/20240603_investment_debut_02/)

(注) キャンペーンページは2024年6月1日午前0時以降にご確認いただけます。
以上

auカブコム証券でのNISA口座開設で、投信買付額に応じて最大
10,000ポイントをプレゼントするキャンペーンを実施

2024年5月31日
KDDI株式会社
auカブコム証券株式会社

KDDI株式会社（本社：東京都千代田区、代表取締役社長：高橋 誠、以下「KDDI」）とauカブコム証券株式会社（本社：東京都千代田区、代表取締役会長兼社長：二宮 明雄、以下「auカブコム証券」）は、2024年6月1日から、期間中にauカブコム証券のNISA（少額投資非課税制度）口座を新規開設したお客さまを対象に、投信買付額に応じてポイントをプレゼントする「NISAで資産形成デビュー応援キャンペーン」（以下 本キャンペーン）を実施します。au/UQ mobileをご利用中のお客さまには最大10,000ポイント、それ以外のお客さまにも最大5,000ポイントをプレゼントします。

2024年から新NISA制度が開始され、全世代において資産運用への興味が高まっています。KDDIグループは、今後も本キャンペーンや、投資初心者が資産運用に関する知識を学べる証券サポートセミナー「auマネ活セミナー」(<https://school.au.com/shop/seminar2/>)の定期的な開催等の取り組みを通じ、貯蓄や投資でお金やポイントなどの資産を形成する「マネ活」を開始したお客さまや、開始しようと考えているお客さまをサポートしていきます。

成長戦略
国内リテール

ネット証券戦略

Phase 1

Phase 2

auカブコム証券の社名変更

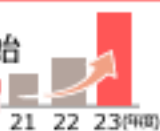
「三菱UFJ」を冠し、Gr各社との連携強化により業容を拡大すべく、社名変更を検討中

グループカであらゆるニーズをカバー

- ✓ 銀行の対面営業からネット証券への連携も含め、お客さまのニーズに応じMUFGの業態間で相互連携
- ✓ セルフ取引はカブコム、お任せ運用のお客さまはウェルスナビへ連携

直近の実績

MUMSSからカブコムへの媒介を開始
Gr各社からカブコムへの連携 **倍増**



業態間の取組

ニコス

クレカ投信積立開始

- ✓ カブコムにおいて、三菱UFJカードによる投信積立をリリース予定。Gr内でのクロスセルを向上

銀行

オートスイープ^o等のシステム連携

- ✓ オートスイープ（銀行からの自動入出金サービス）とダイレクトへの運用残高表示でシームレスな連携
- ✓ 銀行口座開設と同時にカブコム口座も開設可能に

ウェルスナビ

Gr連携・一体キャンペーン

- ✓ 「お任せニーズ」のお客さまをウェルスナビへ連携
- ✓ NISAに関しMUFG各業態共同のキャンペーンを予定。MUFG内で多様なニーズにお応え

相互連携推進

商品性向上

世界最高峰の執行システム 本邦初

- ✓ モルガン・スタンレーの株式注文執行システム (SOR・アルゴリズムトレード) を個人投資家に提供予定

複数市場での価格発見・執行機能
→株式約定率向上・取引価格の改善

アルゴリズムトレード機能
→ニーズに合わせた売買手法を提供

MAP



ウェルスナビとの協働でMAPを構築 (p.6)
資産運用以外のサービスも幅広くレコメンド・提供し、ネット証券だけに留まらない価値を提供

各商品等には価格の変動等による損失を生じるおそれがあります。当社ホームページにて取引内容、リスク等の説明内容事項をご覧ください。

- ※ 証券投資は、価格変動、金利の変動、為替の変動等により投資元本を割り込む恐れがあります。自動売買を含むすべてのご注文は必ず約定するものではありません。お取引の際は、目論見書、約款・規程集及び契約締結前交付書面等をよくお読みいただき、商品特性やリスク及びお取引ルール等をよくご理解の上、ご自身のご判断で無理のない資産運用を行ってください。
- ※ 投資信託の購入は、基準価額の変動により元本を割り込み損失を被ることがあります。ファンドにより販売手数料とは別に、信託報酬・解約手数料・その他手数料等を要するものがありますが、各ファンド別に要件・料率等が異なりますので表示できません。お取引に際しては、目論見書商品毎 および目論見書補完書面投資信託をよくお読みください。
- ※ 信用取引・指数先物取引・指数オプション取引は、保証金または証拠金以上のお取引が可能であるため、保証金または証拠金を超える 大きな損失を被ることがあります。又、取引期限があり取引期限を越えてのお取引はできません。
- ※ 外国為替証拠金取引FXは、取引金額がお客さまが預託しなければならない証拠金の額に比べて大きい額となっており、投資額以上の損失が生じる可能性があります。又、外国為替証拠金取引は元本や利益を保証するものではなく、為替変動リスクや金利変動等のリスクを伴います。本取引において当社が提示する売値と買値の間には差額があります。
- ※ 外国債券の価格は、金利水準の変動により上下するため、償還前に売却する場合には、元本損失が生じることがあります。また、発行者の経営・財務状況の変化及びそれらに対する外部評価の変化等により、損失を被ることがあります。外国債券は、為替相場の変動等により、元本損失が生じたり、債券を発行する組織発行体が所属する国や地域、取引がおこなわれる通貨を発行している国や地域の政治・経済・社会情勢に大きな影響を受けたりするおそれがあります。外国債券を購入する場合は、委託手数料はかかりませんが、売買における売付け適用為替レートと買付け適用為替レートには差額があります。上記、適用為替レートは債券の起債通貨によって異なり、実勢レートに基づき当社が決定します。
- ※ お取引に際しては、契約締結前交付書面をよくお読みいただき、商品特性やお取引ルール等をよくご理解の上、ご自身のご判断で無理のない資産運用を行ってください。
- ※ 各商品等へのご投資には、商品毎に所定の手数料等が必要です。詳しくは当社の手数料ご案内ページ<https://kabu.com/cost>等をご参照ください。手数料には消費税が含まれています。
- ※ 掲載情報の最新情報は当社ホームページ<https://kabu.com/>にてご確認ください。
- ※ ご投資にかかる手数料等およびリスクについてはこちら (<https://kabu.com/company/info/escapeclause.html>) をご参照ください。

本資料に記載されている事項は、資料作成時における当社の見解であり、その情報の正確性を保証またはお約束するものでございません。今後、予告なしに変更することがございます。

| | | |
|---|--------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 1 | 企業・開示情報 | https://kabu.com/company/ |
| 2 | 決算短信・決算説明資料 | https://kabu.com/company/disclosure/accounting_line.html |
| 3 | 口座数・約定情報等の推移 | https://kabu.com/company/monthly_disclosure/order/default.html |
| 4 | 顧客投資成績（信用評価損益率）の推移 | https://kabu.com/company/monthly_disclosure/score/default.html |
| 5 | システムレポート | https://kabu.com/company/monthly_disclosure/system/default.html |

auカブコム証券株式会社

金融商品取引業者登録：関東財務局長（金商）第61号 銀行代理業許可：関東財務局長（銀代）第8号 電子決済等代行業者登録：関東財務局長（電代）第18号

加入協会（加入順）：日本証券業協会、一般社団法人 金融先物取引業協会、一般社団法人 日本S T O協会、一般社団法人 日本投資顧問業協会、一般社団法人 第二種金融商品取引業協会